

2024年5月11日

2024年度 第1回研修会 報告

学術部 浅井 美紀
東出 了

2024年度第1回研修会を2024年5月11日（土）14時から16時にて『明日から役立つ！乳腺画像診断』をテーマとして日赤愛知名古屋第二病院で開催しました。今回の参加者は158名（会員111名、非会員47名）でした。

特別講演1

豊田厚生病院 乳腺外科 丹羽多恵先生に「診療放射線技師に知ってほしいマンモグラフィ読影基礎」というタイトルで、マンモグラフィガイドラインに沿って初心者にもわかるように詳しく、マンモグラムの読影の基本から所見用語、所見の記載についてお話して頂きました。途中、病理所見などを図解付きで解説をして頂き、難しいはずの分野がとても分かりやすい内容でご講演をいただきました。

会員発表

「よりやさしいマンモグラフィを “接遇とポジショニングの取り組み”」では多和田会員にマンモグラフィ撮影時の接遇からポジショニングまで幅広くお話して頂きました。いかに患者様に安心感を与えられるか、声掛けの大事さ、撮影時の圧迫方法の違いなどを学びました。

「3T-MRIを用いた乳腺撮像」では中田会員にMRI装置、使用機器、撮像パラメータ、画像トラブルの改善についてお話して頂きました。3T装置を使用することでより高分解能の撮像が得られること、声掛けの大事さ、ポジショニングの大事さを学びました。

特別講演2

名古屋市市立大学 放射線医学分野 浦野みすぎ先生に「一目置かれる乳腺MRI」というタイトルで、乳腺MRI画像診断の基礎知識から乳腺MRIの目的、総合画像診断における乳腺MRIの役割についてお話をして頂きました。正常乳腺が造影で増強されてしまうため、月経周期も関係すること、インプラントフォローの重要性など多くの臨床画像を用いて大変わかりやすいご講演をいただきました。

今回の研修会ではマンモグラフィと乳腺MRIの読影からポジショニングまで幅広く学ぶことが出来ました。読影しやすい画像を得るためには、患者様への声掛けが大事であることを再認識しました。今後は撮像時に苦痛がなく、患者様の動きがなく、きちんとした体位で

行うこと。自ら読影し情報量の多い画像を提供できるように心掛けていきたいと思いました。

また、乳腺画像診断の内容ということで今回の参加者はほぼ9割が女性でした。ご講演の内容が非常に充実しており、多くの会員にとって興味深い研修会を開催できたと考えています。今回は非会員の参加者も多く、愛知県診療放射線技師会の研修会活動が非会員の方々の入会へのきっかけとなることを期待しています。今年度もいくつかの研修会を企画し、多くの会員や非会員の皆さまが勉強できる機会を提供していく予定です。是非とも多くの仲間とともに研修会へのご参加をお願いします。